

委員会報告

広報・公共イメージ向上委員会から皆様にご報告をさせていただきます。

本日皆様のお手元にお配りしております、[柏南ロータリークラブ様]と書かれた用紙をご覧くださいませでしょうか。これは、東アフリカに位置するケニア共和国「ナイロビ日本人学校」の校長先生よりいただきましたお礼状です。

この、ナイロビ日本人学校を通して、ケニアのストリートチルドレンに対し手を差し伸べる気持ちで活動をした報告です。

福田会員の会社で以前より様々な支援を行っている、クラシック出身の音楽家でいらっしゃる田尻さんという方が、1月にアフリカのケニアへ奉仕活動に行かれました。伝染病や内戦紛争地域の過酷な状況を一瞬でも忘れ、音楽の力で笑顔にし、音楽を聴いたことのないアフリカの子供達に音楽の楽しさを伝え、その事をきっかけに、社会に通じる常識や教育を身に着けるために学校へ通おうよという企画です。

田尻さんご自身は日本人ですが、教員をされていたご両親の関係で、中学までナイロビ日本人学校で過ごされました。当然、現地のストリートチルドレンの様子や状況も、よく理解されています。

今回の活動では、母校でもある「ナイロビ日本人学校」に加え、100名以上が共に暮らす障害者施設の学校や、教会、ストリートの子供達専用の新しい学校など、合計9カ所に対し活動が行われました。ストリートチルドレンが暮らす地域では貧しい母子家庭が多く、親の無い子供達は、さまよいながら生きている状況です。

パン1個が60円、シンナーが40円で手に入るため、シンナーを吸えば子供なら5日ほど飢えをしのごうことができるそうです。ストリートチルドレンのほとんどは、シンナーや薬物に溺れ、食事や学びのない環境に直面しています。

音楽に触れている間だけでも薬物から離れ、生きるための教育を学校で学び、希望を持てる機会に繋がればという思いから、今回の活動を決断されたそうです。福田会員は演奏者からその取り組みを相談され、主旨を明確に導き支援する運びとなったと、報告がありました。

何かクラブとして取り組む事ができないものかと考えましたが、ちょうどロータリーの例会もお

休みになってしまい、皆様と直接お顔を合わせることができない中で、皆様に十分な説明やお願いができないこと、出発までの期間が迫っており十分な準備期間が取れないことから、クラブとしての取り組みは断念いたしました。

クラブとしては断念はしましたが、折り紙やリコーダーを2人で準備し、田尻さんに現地まで持って行っていただきました。

初めて聴く音、初めて見る折り紙、初めて吹いたリコーダーに子供たちの興味と笑顔が広がり、最後には多くの中から1名でしたが、親のいないストリートの子供が、「学校に通う事を決めたよ!」と笑顔で伝えてきたそうです。

現地では、田尻さんが校長先生に今回のいきさつをお話くださり、柏南ロータリー宛にこのお礼状をいただいたという経緯がございます。

今年、ナイロビ日本人学校は開校50周年を迎えられます。今回のことがきっかけで、今後何かクラブとしての活動につながることが出来れば素晴らしいと考えております。

そして、もうすぐ「ひな祭り」ということで、先日、古谷会員にもご協力をいただき、折り紙で作ったお雛様や、兜、イノシシ、ひなあられ、お箸など、日本文化を感じ、伝えられる物をあらためて送らせていただきました。

ロータリーでは一人一人個人での奉仕活動の実践も謳っております。

皆様もそれぞれに地域などで奉仕活動を行っていらっしゃると思いますが、たくさんおありになるかと思えます。クラブ外での奉仕活動などに参加されましたら、どうぞ広報委員までお知らせください。

どんなに小さな活動でも、会員みなで共有し、今後のクラブ活動に役立てることができたらと思っております。

